

とねりこ

力合小学校だより
令和元年10月4日
児童数：551名
文責：校長 乙丸孝嗣

〇〇の秋

10月に入り、秋の気配を感じる季節となりました。秋と言えば「スポーツの秋」「読書の秋」など、いろんなことに取り組める最高の季節です。そこで、始業式では「努力の秋」を目指し「一粒の米」という話をしました。（前後は省略）～江戸時代に活躍した新井白石は、子どもの頃は勉強が大嫌いで朝から晩まで友達と遊び回っていました。全然勉強しない白石を見てお父さんは、そろそろ、この話をしておいたが良かったらと思う、白石を米びつの所に連れて行き、こんな話をしました。「米びつから1粒の米を取っても、お米が減ったかどうか分からない。けれども、1年かけて毎日1粒ずつ取っていくと減ったことは、はっきりと分かる。勉強も同じことだ。1日だけ勉強を怠けたとしても勉強が分からなくなることはない。しかし、毎日怠け続けていくと、1年後は勉強が本当に分からなくなってしまうのだ。何事にも、粘り強く頑張り続けることが、お前の力になることをよく覚えておけ」と話して聞かせました。その話を聞いた白石は、1粒のお米を机の上にお守りとして置き、勉強を怠けそうになったときは、それを見て自分を励ましたそうです。～このような話を言って聞かせる白石のお父さんもすごいのですが、その話を聞いて心を入れ替え、粘り強く勉強するようになった白石も素晴らしいと思います。子ども達が、この2学期、怠け心が出た時は、この「1粒の米」の話を是非思い出して、粘り強く努力してくれることを期待しています。



朝のストレッチ体操

6月に実施したスポーツテストの結果、本校は柔軟性・投力・握力・持久力が全国平均と比べて低いことが判明



しました。そこで体育委員会は、まず柔軟性をつけるため、月・水・金の始業前に音楽を流して、その場でストレッチ体操をする時間を作りました。どんな体操をするかは、昼休み体育館に集めて体育委員会の子ども達が写真のように丁寧に教えています。柔軟性を高めると怪我防止にも繋がりますので、おうちでも風呂上りなど実施してもらおうと、より一層効果が上がると思います。

英語に慣れ親しむために

昨年度より、5・6年生に加え3・4年生にも外国語（英語）の授業が始まりました。そこで、少しでも子ども達が英語に慣れ親しむようにと昼休みの時間を使って、本校ALTのハニス先生（シンガポールから来られました）と会話をする場を設けました。恥ずかしがって子ども達は集まるかなと心配でしたが、全くの杞憂に終わりました。多くの子ども達が集まり、ハニス先生と片言の英語で会話を楽しみ、笑顔で教室に戻っていききました。



5年生の集団宿泊教室

例年ならば金峰山少年自然の家に行くところですが、今年の3月、地震による屋根の損壊が激しいことが判明し使用できなくなりました。そこで、今年は9月10日～12日に豊野少年自然の家に行きました。天気は良かったのですが、気温が30度を超え熱中症が心配になる暑さの中の活動となりました。特に2日目のハイキングは、酷暑の中、約5時間歩き続ける本当にきつい活動となりましたが、子ども達はよく耐えて歩き続けました。この3日間、協調性・忍耐力・生活規律をしっかりと身につけた宿泊教室となりました。「聞いたことは忘れ、見たことは覚え、体験したことは身につく」という諺があります。

この3日間で体験して身につけたことを是非これからの学校生活に生かしてくれることを期待しています。



子ども達と一緒に聞かれませんか

10月16日、校内人権集会で熊本子ども人権テーブルの入江里美さんが、「一つのいじめはみんなの危険信号」という演題で講演されます。下記の日程で実施しますので、ご都合がつかれる方は是非、聞きに来られませんか。

1～3年生・・・ 9:35～10:20

4～6年生・・・ 10:40～11:25

場所は、体育館です。お待ちしております。

教育実習生

9/30～10/11日の2週を6年3組で、10/15～10/25の2週を5年2組で実習する坂口美月さんです。本校の卒業生で、小学校の時はバスケット部に所属していたそうです。



九州初のVR防災学習

9月4日、4年生が九州で初めてとなるVR（仮想現実）を活用した防災学習を体験しました。翌日には熊日新聞に大きく掲載されたので読まれた方も多いかと思いますが、ゴーグルを着用して実際に火事現場にいるかのような緊張感を味わいながらの訓練に、子ども達も興味津々に真剣に参加していました。災害に強い子どもを育てる学習構成となっており、災害から自分の身を守る術をしっかりと身につけることができた学習になりました。

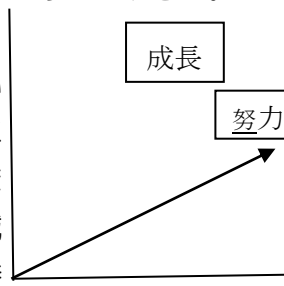


9月・10月は例年ケガが多い

養護教諭の赤星先生から「9・10月は例年ケガが多いんですよ。」と話を聞いておりましたが、本当に9月の1か月間、ケガをして保健室に来室する児童がとても多いことに驚きました。さらに、自転車でわき道から本道に出るとき車に接触する事故も2件あり、とても心配しているところです。学校でも注意喚起はしておりますが、是非ともご家庭でもご指導よろしく申し上げます。10月は子ども達のケガが激減することを願っています

始業式で「努力は一つ一つ積み重ねるしかない」という話をしましたが、「努力しても、一つも伸びない」と子どもが悩んでいたなら、下の成長曲線の話をしてあげてください。

努力をしても、すぐ目に見える成長はないけれども、確実に内には力が蓄えられています。何事にも初めは域をぬけるには多くの時間



間の積み重ねが必要ですが、グラフのようにある域を超えたとき、成長は加速的に訪れて、目に見える成長が実感できるものです。「諦めずに続けること」を助言して下さい。